

| | |
|--|--|
| 調達方法 | 技術的対話による一般競争入札（総合評価落札方式） |
| 調達件名 | 次期人事給与等関係業務システム用ソフトウェア賃貸借及び設計・構築等業務一式 |
| 落札事業者 | 株式会社 Works Human Intelligence |
| 調達部局等 | 外務省大臣官房情報通信課 |
| 入札公告日 | 令和4年4月8日 |
| 入札説明会 | 令和4年4月26日15時00分 |
| 技術提案書提出日 | 令和4年5月30日 |
| 形式的審査期間 | 令和4年5月30日～6月1日 |
| 技術的対話期間 | 令和4年6月10日～6月24日 |
| 技術的対話内容審査期間 | 令和4年6月29日～7月4日 |
| 仕様書確定版提示日 | 令和4年7月14日 |
| 改善版提案書提出日 | 令和4年7月29日（契約相手方） |
| 開札日 | 令和4年8月31日 （技術提案要領で示した落札者の条件を全て満たす入札が無かったため不落） |
| 予算決算及び会計令第99条の2に基づき随意契約に付すことを決定した日 （いわゆる不落随契） | 令和4年9月12日 （本件調達方式の特性に鑑み、本件業務の履行が可能な者は技術的対話に参加し、かつ対話・技術審査に合格した者しか存在しないと考えられることから、再度入札を行わず、予算決算及び会計令第99条の2に基づき随意契約を行う。） |
| 契約日 | 令和4年9月12日 |

《審査・開札結果》

| | |
|--------------|--|
| 形式的審査等の結果 | 提案事業者数 2社（合格2社、不合格0社） |
| 技術的対話の審査結果 | 提案事業者数 1社（合格1社、不合格1社） |
| 開札結果 | 応札事業者数 1社（株式会社 Works Human Intelligence） 開札結果 1回目 総合点 22,950点（不落） 2回目 総合点 22,950点（不落） 3回目 総合点 22,950点（不落） （技術提案要領で示した落札者の条件を全て満たす入札が無かったため不落。） |
| 不落随契にかかる交渉結果 | 交渉相手方 1社（株式会社 Works Human Intelligence） 交渉結果 1回目（交渉成立） |

《株式会社 Works Human Intelligence との技術的対話の過程》

| | |
|-------------|---|
| 技術的対話の時期・回数 | 令和4年6月10日、17日、24日（計3回） |
| 技術提案書への改善要望 | ① 個別開発機能のスキームの精緻化及び費用の再積算 ② 仕様書全体の精緻化・認識相違の解消 ③ 構築コストを削減するための方策を提示要望 ④ 運用フェーズに要するコストを削減するための方策を提示要望 |
| 事業者からの改善可否等 | ① 上記①については、精緻化及び費用の再積算が可能となった。 ② 上記②については、業務担当者と事業者との間で対話を行ったことにより、仕様書のさらなる精緻化及び認識相違の解消に繋がった。 ③ 上記③については、個別開発機能を分離することによって可能と |

| | |
|-------------|--|
| | <p>なった。</p> <p>④ 上記④については、段階的に応札事業者主体の運用・保守から職員による運用・保守に移管する計画を立案する。</p> |
| デジタル庁からの助言等 | システムテストにかかる提案につき、府省共通システムの事例を踏まえた要望を提案事業者に実施 |
| 事業者から自発的な改善 | 個別開発機能について、提案製品の仕様上、分離調達が可能であり、開発コストにさらなる競争性を働かせることで削減が可能。 |